

♪小平界隈男声合唱団♪

第5回
K・K・メンネルコール
定期演奏会

指揮 下村 雅人

ピアノ 松行 美左子

2017年 6月25日(日)

14:00 開演

ルネこだいら大ホール

[後援]

小平市

公益財団法人 小平市文化振興財団

ご挨拶

本日はK・K・メンネルコール(小平界限男声合唱団)第5回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。K・K・メンネルコールは1993年に設立され、今年で24年目を迎えます。前回の定期演奏会をきっかけに団員数は40名を超え、様々な男声合唱曲にもチャレンジできるようになりました。今回の定期演奏会では、団員から特に希望の多かった「巡礼の合唱(タンホイザー)」・「Ave Verum Corpus」・「この街で」に加えて、「土の歌」、昔懐かしい昭和浪漫歌謡曲まで幅広く演奏いたします。

ただ、団員の平均年齢は70歳を越えており、初めて合唱を経験する団員も少なくなく、音取・暗譜には苦戦の連続で、とりわけ「土の歌」では何度か折れそうになったこともありました。本日定期演奏会を迎えることができたのは、団員の気持ちや状況に合わせてわかりやすく、モチベーションを高めるように、時には厳しくご指導いただいた下村先生と松行先生、ご支援をいただいた関係者の方々、そして団員の健康管理に気を配ってくれた家族のおかげであると心から感謝をしたいと思います。もうひとつ、昭和生まれの親父達の生真面目さ、最後まで諦めないという心意気についても付け加えさせていただきます。

K・K・メンネルコールの特徴は、下村先生の発声練習のもとで鍛えられた実年齢の割には若々しいと言われる響きです。本日は、私達が努力してきた姿と成果を少しでも皆様にお伝えすることができれば幸いです。どうぞ親父達が包み込む優雅な男声合唱をお楽しみください。

K・K・メンネルコール

代表 高橋 伸一

主な活動

- ・ 通常練習：毎週木曜日 19時～21時30分(小平中央公民館)
- ・ 定期演奏会
- ・ 小平市合唱連盟春の合唱祭
- ・ 小平市民文化祭秋の合唱祭
- ・ 西武沿線男声合唱団交歓演奏会
- ・ 東日本大震災復興支援こいだらチャリティコンサート
- ・ 小平市表彰式でのアトラクション演奏
- ・ 地域の諸施設でのボランティア演奏



第1回演奏会 2008年11月



第2回演奏会写真 2010年11月

演奏曲目

第一ステージ

自由の歌

Ave Verum Corpus

狩人の合唱

作曲：J.H. Stuntz

作曲：Wolfgang Amadeus *Mozart*

作曲：C.M. von Weber

第二ステージ

男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

第一楽章 農夫と土

第二楽章 祖国の土

第三楽章 死の灰

第四楽章 もぐらもち

第五楽章 天地の怒り

第六楽章 地上の祈り

第七楽章 大地讃頌

作詞：大木惇夫 作曲：佐藤 眞

休憩（15分）

第三ステージ

第1部

懐かしのメロディシリーズ

Sing Along

青い山脈

夜霧よ今夜もありがとう

喜びも悲しみも幾年月

I've Been Working on the Railroad

この街で

作詞・作曲：Robert Allen

作詞：西條八十 作曲：服部良一

作詞・作曲：浜口庫之助

作詞・作曲：木下忠司

アメリカ民謡

作詞・作曲：新井満

第2部

テノール独唱（下村雅人）

第3部

フィンランディア

巡礼の合唱

作曲：Jean Sibelius

作曲：Richard Wagner

K・K・メンネルコール自慢の指導者

下村 雅人（しもむら まさひと） 指揮

イタリア声楽コンクールソ金賞、日伊声楽コンクールソ入賞、飯塚新人音楽コンクール優秀賞。モーツァルト「魔笛」にてオペラデビュー、以後ヴェルディ「椿姫」アルフレード、プッチーニ「ボエーム」ロドルフォなど数々のオペラに出演。また、山口あきら氏（演出）の協力のもと、リサイタルにバレエを共演させ新しい表現の演奏会として好評を得る。オーケストラ・アンサンブル金沢とヘンデル作曲「メサイア」で共演するなど宗教曲のテノール・ソリストとしても幅広く活躍する。近年は、毎夏長野の松本で催されるサイトウ・キネン・フェスティバルにも定期的に出演。現在では、様々なスタイルのオペラやコンサートの構成・演出・出演と幅広く活動をする。



2011年東日本大震災において、震災後逸早く音楽家へ発信し「こだいらチャリティーコンサート」発起人となり11年4月1日・7月30日、12年3月4日、14年3月16日、15年3月15日、16年3月13日、17年3月12日と息の長い被災地支援を続けている。

二期会会員・日本演奏連盟会員

(^ ∇ ^)乙女座A型

私にとってのK・K・メンネルコール

縁あってK・K・メンネル指導をする様になり早十数年。歌好きが集まって退職後の楽しみといえながら、学生時代の放課後クラブ活動さながらに練習は真剣そのものである。気がつけば団員も大所帯となり、こちらもオヤジ達45人のパワーに立ち向かうため、毎回気合いを入れる。

現役の歌手という職業柄、着任当初より“まずは声を出す！！”という事に重きを置き、発声練習を大切に指導してきた。

人生の先輩でもあるメンバー達と長い時間をかけて育ててきたKKサウンド。本日、どんな音色で皆さんの元へ届くのか私自身も楽しみに指揮を振ろう！！ご来場心より感謝申し上げます。

松行 美左子（まつゆき みさこ） ピアノ

フェリス女学院大学音楽学部ピアノ科卒業。馬島瑞枝、手塚敏子氏に師事。伴奏法をヘルムート・ドイッチュ氏、ダルトン・ボールドウィン氏に師事。両氏のもとで特にドイツリートの研究を積む。

日本初のプロ女声合唱団「日本女声合唱団」の専属ピアニストとして、国内各地で演奏。旧ユーゴスラビア、ニュージーランド、フィジーなどの海外演奏会にも同行する。

また二期会オペラスタジオピアニストになり、鮫島有美子氏を始め、数多くの声楽家と共演する。鮫島氏とは「ミュージック・フェア」「NHK夢コレクション」「ゴールドディスク大賞授賞式」やラジオ収録等でメディア出演をしている。

合唱団との共演も多く、定期演奏会、コンクール、CD録音等で活躍。

(^ O ^)サソリ座O型

私にとってのK・K・メンネルコール

とにかく皆様「熱心！！」私達指導者の言う事に目をキラキラさせながら耳を傾け、一生懸命練習する真摯な姿に感動すら覚えます。本日、その努力の成果が最大限に出せますように心よりお祈りしながら一緒に演奏したいと思います。

KKメンバーに栄光あれ！



演奏曲目解説

第一ステージ

♪自由の歌

ドイツ学生歌で男声合唱曲。KK親父達が青春の日々を懐かしみ、若き命を歌いあげます。

♪Ave Verum Corpus

モーツァルトが妻コンスタンツェの温泉療養のお礼に作曲したモテット(ミサ曲でない複数声部による宗教曲)。今までのモーツァルトのイメージとは違い、敬虔かつ荘厳な雰囲気が聞く人を魅了します。モーツァルトの代表曲の一つです。KK親父達も厳かに歌います。

♪狩人の合唱

1821年初演の歌劇「魔弾の射手」第3幕で、ホルンで奏でる序曲と共に有名な男声合唱曲。森の射撃大会で狩人達が狩りの喜びを歌い上げる合唱です。この曲はその素晴らしさから初演終了のあと、観客が口ずさみながら帰った、という逸話もあるほどです。

第二ステージ

♪男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

「土の歌」は戦争の焼け跡からの反戦の祈りをテーマにしたカンタータです。大地の恵みに感謝しつつも、文明に翻弄される人間の愚かさを呪い、原爆の悲劇を訴え、天変地異におののきつつも、地上の平和を祈り、大地への感謝で締めくくる。反戦でも有り、平和希求への強烈な祈りと訴えである。

地震津波などの天変地異、原発事故、核兵器の脅威、そして絶えることの無い戦争、まさに今の世を歌っているのかも知れません。

【第一楽章「農夫と土」】

命の糧を作り出す土。その土と共に生きる人間。土への感謝と、自然の繰り返される「生」の神秘を歌っています。

【第二楽章「祖国の土」】

土とは大地。人間は大地の上で日々生きている。故郷の、祖国の大地の尊さと愛おしさ。

【第三楽章「死の灰」】

護るべき大地、世界を滅ぼすのは人間である。文明、科学を作り出し、間違った使い方をする愚かな人間である。原爆への怒りと犠牲者への哀悼。

【第四楽章「もぐらもち」】

大地を汚した人間が、もぐらのようにその大地の下に逃げ込む愚かさ。怒りを皮肉に込めて表します。

【第五楽章「天地の怒り」】

ついに人間の自然を汚す愚かな行為に、自然が天災となり怒りを爆発させます。そして人類が、自らの過ちによって傷つけられます。

【第六楽章「地上の祈り」】

愚かな人間の犯した罪を、鎮めて、復活させてくれるのは傷つけてしまった自然しかない。大地と自然の大きな懐を信じて、感謝して日々を耐えていこう。

【第七楽章「大地讃頌」】

大地への限りない感謝と賛美。

第三ステージ

第1部

<懐かしのメロディシリーズ>

さあ、皆さんも一緒にあの頃の思い出の中へ。

♪Sing Along

60年代に大ヒットしたミッチミラー合唱団「ミッチと歌おう」の軽快で楽しいテーマ曲。この曲が歌いたくて入団した団員も。皆様、スウィングしながら楽しく聴いてください！

♪青い山脈

石坂洋次郎の小説の映画「青い山脈」（主演：原節子、池部良）の主題歌として1949年に発表され、戦後の民主化の息吹を伝えて藤山一郎の歌声で大ヒットしました。世代を超えた国民的愛唱歌です。小説で有名になった『変しい、変しい新子さま』を覚えている方は？

♪夜霧よ今夜もありがとう

1967年に公開された石原裕次郎主演映画の主題歌。作詞作曲はハマクラの愛称で親しまれている浜口庫之助。石原裕次郎の甘い歌声でヒットし、変わらぬカラオケ定番曲です。

♪喜びも悲しみも幾年月

1957年木下恵介監督の映画主題歌で主演は高峰秀子と佐田啓二。実在の灯台守の妻の手記に基く作品。作詞作曲の木下忠司は木下監督の実弟です。若山彰の迫力ある歌唱で大ヒットしました。

♪I've Been Working on the Railroad

小学校時代皆んなで歌った、ご存じの「線路は続くよどこまでも」です。アメリカ横断鉄道建設でアイルランド系移民の工夫達が、つらい労働の中で歌ったアメリカの民謡。ダイナ！汽笛を鳴らせ！！

♪この街で

多くの歌い手により歌われて大ヒットした新井満の心温まる曲です。松山市での「恋し、結婚し、母になったこの街で、おばあちゃんになりたい！」という詩から生まれました。KK親父達が涙で歌う最後のフレーズは私達の誇りでもあります。「おばあちゃんになったあなたと・・・」

第3部

♪フィンランディア

交響詩「フィンランディア」より「フィンランディア賛歌」。フィンランドでは第二国歌と言われる愛国歌です。讚美歌298番「安かれ、我が心よ」でも有名。KKは世界平和を希求して歌います。歌詞は米人ロイド・ストーンによる英語歌詩を元に関忠亮が作詞したもの。

♪巡礼の合唱

歌劇「タンホイザー」第3幕で、主人公の放蕩の騎士タンホイザーの恋人エリーザベトが彼の罪の赦しの知らせを待ち焦がれる前を、ローマから戻る年老いた巡礼達が通り過ぎる場面での合唱。管楽器で奏でる有名な序曲と同じ主題で、神の恩寵と栄光を讃えるも、その悲劇的な結末を暗示します。昔ドイツ語で泣かされたKK親父達が再びドイツ語の発音に悪戦苦闘です。



第3回演奏会 2013年3月



第4回演奏会 2015年9月

出演者紹介 (五十音順) *印 パートリーダー

◎トップテナー (T 1)

*生駒 守、井上 徹、勝見 亮助、川上 元章、菊池 浩、佐藤 勝裕、高橋 秀夫、谷口 善勝、中島 長康、平林 正明、福島 出、矢野 拓郎
パートリーダーから：平均年齢 68。楽しく歌って、たまには飲んで、明るく元気いっぱい個性派揃いの仲間たち。見た目と声の若さのギャップに注目してお楽しみください。 T1 生駒守

◎セカンドテナー (T 2)

石曾根 貞一郎、乙幡 俊之、久保田 宏、高橋 伸一、竹杉 紀明、廣本 博史、深田 彰男、福井 徹、福士 勝夫、*藤田 正記、増井 信、松井 次男
パートリーダーから：野球のセカンドのように高音域から低音域まで幅広くカバー (アンサンブル) し、ただ合わせるだけでなく、曲によっては主旋律を歌っていますよ。 T2 藤田正記

◎バリトン (B r)

池田 敏夫、今井 俊博、岩田 友一、塩田 智男、常谷 敦彦、中村 三郎、奈良 知幸、濱中 正司、松尾 勲彦、*吉崎 俊一
パートリーダーから：最も平均年齢が高く、合唱経験者は丁度半分のパートです。「和音て何？」と言う様な質問も出ますが全員意欲は充分、音取り暗譜にと頑張ってきて来ました。 Br 吉崎俊一

◎ベース (B s)

石井 昭、石川 文也、大上 祥彦、川寄 信行、小池 一平、小林 和憲、志賀 武彦、高島 一壽、東條 文雄、藤崎 武彦、*山田 健
パートリーダーから：声は低いが意識は高い。見た目は怖い^{いんど}が心は優しい。苦み走った熟年 11 人が男声合唱の土台を責任もって支えています。力強い低音の魅力をご堪能下さい。 Bs 山田健

衣裳係の一言

T2 石曾根貞一郎

現役時代ダークスーツで頑張った親父達。ナッパ服で現場を仕切った親父達。人生の荒波を乗り越え、第二の青春真っ只中で好きな合唱を楽しむ親父達が舞台に立つことになった。アマチュアと雖もやるからにはカッコいい舞台衣裳で登場したい。「粹で」「クールで」「おしゃれな」装い。白のジャケットにクロスタイ、深紅のポケットチーフ。黒づくめのフォーマルスーツ。スポットライトに光るサテンシャツ。今日はこれで行こう！

新人のつぶやき

Bs 藤崎武彦

どちらかという敬遠していた合唱団ではあったが、偶々中央公民館のホールから漏れ響いてきた男声合唱のハーモニーに魅了されフラフラとKKに入会してしまった。全体を下支えするベースの魅力を感じ始めています。「馬子にも衣裳ね！」と皮肉られつつも純白の舞台正装は満更でもない。熱意溢れる下村・松行両先生、魅力的なキャラで酒とのハーモニーも大事にする諸先輩に恵まれ、毎週木曜の特訓に励んでいる。時々奇声が聞こえたらお許しを。

団員募集

K・K・メンネルコールでは、団員を募集しています。

団員数は40名を超え、80歳代から現役世代の方まで年齢層は幅広く、クラシックから日本歌曲・日本民謡・世界の歌・ポピュラーまでいろいろな男声合唱曲を取り上げ、毎週木曜日夜(19時～21時30分)、主として小平中央公民館で練習に励んでおります。

音楽が大好きな方、男声合唱に興味をお持ちの方の入団を心よりお待ちしております。練習は発声練習の基礎から行いますので、合唱経験のない方でも大丈夫です。

連絡先：高橋 伸一

TEL：042-344-9432

